

## 鹿島市総合教育戦略会議（第10回） 議事録（概要版）

1 開催日時 平成28年3月16日（水）9時59分から11時12分まで

2 開催場所 鹿島市役所 3階 庁議室

### 3 出席者等

- ・法定構成員 樋口市長、田中教育委員会委員長、江島教育委員会教育長、中島教育委員会委員、木原教育委員会委員、田代教育委員会委員
- ・市長部局 藤田副市長、橋村総務部長、大代総務課長兼人権・同和対策課長、橋村福祉事務所長、事務局（総務課職員 江頭、原田）
- ・教育委員会部局 染川教育次長兼教育総務課長、藤家教育総務課課長補佐
- ・外部関係 なし
- ・傍聴 報道機関1社

### 4 協議又は調整した事項（確認事項含む。）

- (1) 第8、9回 鹿島市総合教育戦略会議の議事録素案について
  - 5 出席者の発言のとおり
- (2) 大綱素案への意見
  - 5 出席者の発言のとおり
- (3) 大綱成案、施策リスト案
  - 5 出席者の発言のとおり

### 5 出席者の発言

#### (1) 概要

司会：橋村総務部長

#### 1 開会（橋村総務部長）

#### 2 市長あいさつ

樋口市長 数多くこういう会議をやらせていただいております、年度内のとりまとめというのが目標になっております、いよいよもう年度末も迫ってきたということで、まずこの会合の、初のゴールラインでございました大綱についての議論、これが本当の意味で最終盤にさしかかっております。今日で目途がつくと思っておりますので、そういう意味での色んな御意見を率直なものを頂戴したいと思います。

### 3 確認事項

#### (1) 第 8、9 回 鹿島市総合教育戦略会議の議事録素案について

橋村総務部長 第 8、9 回 鹿島市総合教育戦略会議の議事録素案についてということ  
で、1 月 14 日の第 8 回分、1 月 22 日の第 9 回分についてお目通しいただきました  
でしょうか。（「はい。」という発言あり）よろしいでしょうか。（「はい」と  
いう発言あり）はい、ありがとうございます。

### 4 報告事項

#### (1) 大綱素案への意見

（大代総務課長説明 大綱素案への意見

- ① 2 月 1 日から 29 日間の間パブコメ→意見なし
- ② 2 月 2 日議会全員協議会
  - ・社会体育などを優先し地域での子どもの姿が見えない、昔は地域での上下関係などの社会勉強ができた、子どもたちを地域で育てていくことが難しくなっている。
  - ・放課後の 2 時間は子どもたちにとっては非常に重要な時間、どうやって意欲的に過ごしていくか、施策として入っているのか。
  - ・今後の戦略会議のあり方、定期的にやって欲しい。
  - ・具体的な施策を含めてパブリックコメントに付すべきでは。
  - ・この大綱によって教育委員会はどのように変わっていくのか、家庭教育支援やワークライフバランス実現はどのようにやっていくのか。
  - ・今曲がり角にきている、関係機関との連携でどのようにやっていくのか、学校現場ではその連携をどのようにやっていくのか。

### 5 協議事項

#### (1) 大綱成案、施策リスト案

（大代総務課長説明 資料④に沿って成案の事務局案を説明。表表紙（大綱の策定について、策定までの経過、鹿島市における大綱の考え方と位置付け、大綱の概要、期間）の説明。大綱素案から成案になって一部表現を変更した部分（展開補足、一部用語変更、英語表記）の説明。）

- ・英語の表記は洒落た感じではあるけど、新規性は評価するけど、あんまり混乱させない方がいいと思う。
- ・高齢者をシルバーというのはいい。

- ・シルバー世代等の等は何をイメージしているのか。
- ・シルバーというのは絶対的年齢、等というのは女性だとか、色んなグループだとか、集団だとか、個人だとか、地域の例えば職場の中にもグループがある。そういうのを含めた地域の力。
- ・今回、対応のあり方の表現が変わった。それについての説明を。

(大代総務課長 前回の時に基本方針のところの説明の確認(社会が変化し価値観が多様化する現代、将来を担う子どもたちに対するみんなが進める教育を推進するということと、推進のための市民が関心と興味を持ちつながら信頼しあう関係の強化を図る、それから周りの大人たちなどが関心と興味を持ち、接することでやる気を生み出すという、つながりと信頼、やる気、この基本方針を、もう少し具体的に展開した形をここで表現している。)

- ・この部分は理想と基本方針をつなぐ役割をしている。
- ・展開の中の将来の鹿島市を担う子どもたちに対する一貫した教育、この一貫した教育というのはどういう意味。
- ・心と体と学力の調和のとれた成長を生まれてからずっとぶれないで一貫して行っていく。
- ・そういう意味では※3の解説をもう少し丁寧に書いた方がいい。
- ・受容感という言葉は。
- ・周りの大人が子どもたちを気付かせて声かけをして、自分は必要な存在なんだ大事にされているんだということで、そういった受け入れられているというのを肌で感じることでやる気が生まれるんじゃないかということ。
- ・受容感という言葉が普通になるほどと思うかどうか。なくてもいいのかもしれない。
- ・難しい言葉は使わない方がかえっていいかも分からない。
- ・この大綱を作る時、なるべく平易にという最初の決め事があったので、なるべく皆さんに分かりやすいようにした方がよくはないだろうかという感じはする。

(大代総務課長 大綱の付属資料施策リスト事務局案について説明：総合計画に掲げる施策の中から大綱の分野ごとに関連する施策をピックアップしてリストとしている旨の説明。総合教育戦略会議の中であったもののうち、総合計画に掲載のないものを7つの補強施策として掲載。①いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の推進②指導者等の人材バンクの創設③子どもたちに関する調査結果等の適正な情報提供④コミュニティスクールの導入の推進⑤親子で取り組める教材の提供⑥放課後児童クラブの受入態勢の確保⑦子どもたちによる子どもたちのための子どもたちの会議の創設)

- ・子どもたちによる、もうちょっと広げるようにしとかなないと、子どもたちのリーダ

ーシップ、子どもたちの主権とか主役というふうにしておかないと、大人は入らなくなってしまふ。

- ・要するに子どもたちの考えをピックアップする場を設けるということで、それは確かにそういう場を設けるといいこと。
- ・これだと限定的過ぎるから、子どもたちが自分たちの意見を述べるあるいは主張する機会や会議の開催とかに。
- ・子どもたちが意見を述べる機会の創出。
- ・放課後児童クラブは総合計画の 13 ページの児童子育て支援の施策の展開方向の一つ目の子ども・子育て支援事業計画の中に放課後児童クラブは入っている。
- ・子どもたちに関する調査結果等の適正な情報提供というのは何を想定されているのか。
- ・学力テストの公表できる部分、それと学校だよりなんか関係者が見ることができるところにオープンにできないものかということ。学校が調査したような結果、データとかをどこまでオープンにできるか。できるところまではオープンにできたらなど。
- ・例えば全国調査の結果は市全体の分というのは、この会議の中でも出しているし、ホームページに載せることができるかなと思う。学校だよりはホームページに載せられる。
- ・コミュニティスクールの導入の推進、個人としては広げていきたいと思うが、予算が伴う。
- ・大きな流れの中で、市民一般のニーズとして学校のあらゆる情報をやっぱり知りたいという欲求というのは一般的に高まっているという中で、この大綱の中でどういうふうな方向性を示すかだろうと思う。
- ・今言っているようにこれは方針、ものの考え方、心構えを書いていると思う、補強施策という部分は。一番分かりやすいのは、施策リストは大綱を補強するためのリストで本体じゃない。
- ・大綱はあくまで成案のみということで、施策リストは主に総合計画の施策を盛り込んでいると。総合計画から大綱に関連する施策をピックアップしてあげている。
- ・そういう整理でいいのでは。

(大代総務課長 事務局で手直しをして、個別で修正案を皆さんに示して、それで修正が必要だったらこちらに頂戴して、完成版を作って了解を得てという形によるしいか。(「いいですよ。」という発言あり))

## 6 その他

橋村総務部長 他にございませんでしょうか。何かありましたら連絡をいただくという事で今日はこの辺で閉じさせていただきます。今日はお忙しい中にお集まりいただきましてありがとうございました。

(11 : 12)

・ 次回開催日 平成 28 年度中 ※日時は未定  
内容「 未定 」